



2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月3日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社ユー・エス・エス

コード番号 4732 URL https://www.ussnet.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 安藤 之弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長統括本部長 (氏名) 山中 雅文 TEL 052-689-1129

四半期報告書提出予定日 2021年8月5日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	20,370	26.9	10,648	58.1	10,842	57.2	7,348	59.1
2021年3月期第1四半期	16,056	△19.2	6,734	△26.7	6,895	△26.1	4,618	△26.2

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 7,646百万円 (64.0%) 2021年3月期第1四半期 4,662百万円 (△26.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	29.47	29.42
2021年3月期第1四半期	18.51	18.47

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	205,920	174,256	83.5
2021年3月期	210,699	173,524	81.3

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 172,042百万円 2021年3月期 171,394百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	ー	27.75	ー	27.75	55.50
2022年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
2022年3月期(予想)	ー	29.20	ー	29.20	58.40

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	38,260	11.6	18,460	16.1	18,800	15.2	12,700	16.0	50.93
通期	77,600	3.6	38,400	6.0	39,100	5.7	26,500	558.8	106.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期1Q	313,250,000株	2021年3月期	313,250,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	63,905,159株	2021年3月期	63,943,259株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期1Q	249,322,691株	2021年3月期1Q	249,443,816株

(注) 2022年3月期1Qの期末自己株式数には318,900株、2021年3月期の期末自己株式数には357,000株、U S S従業員持株会専用信託が所有する株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、2021年8月3日（火）に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の新車登録台数(軽自動車含む)は、1,034千台(前年同期比23.8%増)となり、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に落ち込んだ前年同期を上回りましたが、新型コロナウイルス感染症発生前の一昨年から比べると依然として低い水準となりました。

中古車登録台数(軽自動車含む)は、新型コロナウイルス感染症の影響により新車の納期遅延が解消し切れない中、在庫があり即納も可能な中古車の需要が高まり、1,654千台(前年同期比6.2%増)となりました。(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会調べ)

また、中古車需要に大きく影響を及ぼす中古車輸出市場は、新型コロナウイルス感染症発生前とほぼ同水準まで回復し、輸出台数は335千台(前年同期比79.4%増)となりました。(財務省貿易統計調べ)

オートオークション市場における出品台数は1,853千台(前年同期比5.4%増)、成約台数は1,243千台(前年同期比26.5%増)、成約率は67.1%(前年同期実績55.9%)となりました。(株)ユーストカー調べ)

このような経営環境の中、U S Sグループの当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高20,370百万円(前年同期比26.9%増)、営業利益10,648百万円(前年同期比58.1%増)、経常利益10,842百万円(前年同期比57.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益7,348百万円(前年同期比59.1%増)となりました。

オートオークション

オートオークションの出品台数は713千台(前年同期比13.0%増)、成約台数は449千台(前年同期比31.3%増)、成約率は63.0%(前年同期実績54.2%)となりました。

オートオークションにおける売上高は、取扱台数が増加したことに加え、成約率の上昇などにより増加しました。

営業費用については、のれん償却額や低額車コーナーの買取保証台数の減少などにより減少しました。

この結果、オートオークションのセグメントは、外部顧客に対する売上高16,343百万円(前年同期比22.9%増)、営業利益10,267百万円(前年同期比50.2%増)となりました。

中古自動車等買取販売

中古自動車買取専門店「ラビット」は、販売台数が増加したことに加え、オークション相場が高値で推移したことにより、増収増益となりました。

事故現状車買取販売事業は、台当たり粗利益が改善したものの、販売台数が伸び悩んだため営業損失となりました。

この結果、中古自動車等買取販売のセグメントは、外部顧客に対する売上高2,110百万円(前年同期比42.0%増)、営業利益18百万円(前年同期実績 営業損失83百万円)となりました。

その他

リサイクル事業は、金属スクラップ相場の上昇傾向による売上、粗利益の増加に加え、解体工事の取扱いが増加したことなどから増収増益となりました。

この結果、その他のセグメントは、外部顧客に対する売上高1,917百万円(前年同期比51.3%増)、営業利益357百万円(前年同期実績 営業損失43百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は205,920百万円となり、前連結会計年度末と比較して4,779百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が4,188百万円、オークション貸勘定が769百万円減少したことによるものです。

負債合計は31,664百万円となり、前連結会計年度末と比較して5,511百万円減少しました。これは主に、未払法人税等が3,909百万円、オークション借勘定が1,901百万円減少したことによるものです。

純資産合計は174,256百万円となり、前連結会計年度末と比較して731百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益7,348百万円に対し、配当金を6,928百万円支払ったことにより利益剰余金が419百万円増加したことによるものです。

<キャッシュ・フローの状況>

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して4,188百万円減少し、60,681百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は2,529百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益10,846百万円（前年同期比57.8%増）、法人税等の支払額7,188百万円（前年同期比34.6%増）、オークション勘定の増減額△1,131百万円（前年同期実績1,076百万円）によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は559百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出370百万円（前年同期比90.1%減）、無形固定資産の取得による支出192百万円（前年同期比4.2%減）によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は6,158百万円となりました。これは主に、配当金の支払額6,928百万円（前年同期比6.8%減）、短期借入金の純増加額826百万円（前年同期比392.1%増）によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の業績予想につきましては、想定する範囲内で推移しており、前回公表（2021年5月11日発表）の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	67,770	63,581
オークション貸勘定	6,596	5,827
受取手形及び売掛金	2,215	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	2,335
有価証券	3,000	3,000
棚卸資産	1,028	908
その他	940	2,079
貸倒引当金	△23	△19
流動資産合計	81,528	77,713
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	35,548	34,975
土地	63,686	63,686
建設仮勘定	30	105
その他(純額)	4,037	3,732
有形固定資産合計	103,302	102,499
無形固定資産		
のれん	8,906	8,771
その他	6,281	6,140
無形固定資産合計	15,188	14,911
投資その他の資産		
投資その他の資産	10,823	10,934
貸倒引当金	△143	△139
投資その他の資産合計	10,680	10,795
固定資産合計	129,171	128,206
資産合計	210,699	205,920

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
オークション借勘定	11,788	9,887
支払手形及び買掛金	707	578
短期借入金	—	826
1年内返済予定の長期借入金	220	220
未払法人税等	7,408	3,499
引当金	767	1,202
その他	6,030	5,221
流動負債合計	26,922	21,436
固定負債		
長期借入金	2,911	2,856
退職給付に係る負債	776	809
資産除去債務	617	620
その他	5,947	5,941
固定負債合計	10,253	10,228
負債合計	37,175	31,664
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,881	18,881
資本剰余金	18,911	18,911
利益剰余金	196,315	196,735
自己株式	△57,435	△57,361
株主資本合計	176,673	177,166
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	378	532
土地再評価差額金	△5,636	△5,636
退職給付に係る調整累計額	△21	△20
その他の包括利益累計額合計	△5,278	△5,124
新株予約権	432	432
非支配株主持分	1,697	1,781
純資産合計	173,524	174,256
負債純資産合計	210,699	205,920

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	16,056	20,370
売上原価	6,808	7,521
売上総利益	9,247	12,848
販売費及び一般管理費	2,513	2,200
営業利益	6,734	10,648
営業外収益		
受取利息	1	1
不動産賃貸料	156	189
雑収入	51	51
営業外収益合計	209	242
営業外費用		
支払利息	3	3
不動産賃貸原価	38	42
雑損失	5	2
営業外費用合計	47	48
経常利益	6,895	10,842
特別利益		
固定資産売却益	1	4
その他	0	—
特別利益合計	2	4
特別損失		
固定資産除却損	26	0
特別損失合計	26	0
税金等調整前四半期純利益	6,872	10,846
法人税等	2,251	3,353
四半期純利益	4,621	7,492
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	144
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,618	7,348

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	4,621	7,492
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40	153
退職給付に係る調整額	0	0
その他の包括利益合計	41	154
四半期包括利益	4,662	7,646
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,659	7,502
非支配株主に係る四半期包括利益	3	144

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,872	10,846
減価償却費及びその他の償却費 のれん償却額	1,282	1,251
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	440	134
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△10	△8
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	350	434
受取利息及び受取配当金	21	34
支払利息	△1	△1
有形固定資産除売却損益 (△は益)	3	3
オークション勘定の増減額	19	△3
売上債権の増減額 (△は増加)	1,076	△1,131
仕入債務の増減額 (△は減少)	530	△119
未払金の増減額 (△は減少)	△89	△128
預り金の増減額 (△は減少)	△236	△224
預り金の増減額 (△は減少)	△452	△364
その他	△400	△1,011
小計	9,406	9,710
利息及び配当金の受取額	0	10
利息の支払額	△3	△3
法人税等の支払額	△5,339	△7,188
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,063	2,529
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,753	△370
有形固定資産の売却による収入	6	4
無形固定資産の取得による支出	△200	△192
その他	△52	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,001	△559
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	168	826
長期借入れによる収入	980	—
長期借入金の返済による支出	△55	△55
預り保証金の預りによる収入	27	44
預り保証金の返還による支出	△47	△35
自己株式の取得による支出	△978	—
自己株式の売却による収入	—	50
配当金の支払額	△7,436	△6,928
非支配株主への配当金の支払額	△51	△60
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△28	△1
その他	0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,420	△6,158
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△7,357	△4,188
現金及び現金同等物の期首残高	50,829	64,870
現金及び現金同等物の四半期末残高	43,471	60,681

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財またはサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財またはサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しておりますが、当該期首残高に与える影響はありません。また、収益認識会計基準等の適用による、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項および「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオー クシヨ	中古自動 車等買取 販売	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,302	1,486	14,788	1,267	16,056	—	16,056
セグメント間の 内部売上高または 振替高	102	0	102	13	116	△116	—
計	13,405	1,486	14,891	1,280	16,172	△116	16,056
セグメント利益ま たは損失(△)	6,835	△83	6,752	△43	6,709	24	6,734

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リサイクル事業および中古自動車の輸出手続代行サービス事業等であります。

2. セグメント利益または損失の調整額24百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益または損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオー クシヨ	中古自動 車等買取 販売	計				
売上高							
外部顧客への売上高	16,343	2,110	18,453	1,917	20,370	—	20,370
セグメント間の 内部売上高または 振替高	80	0	80	0	81	△81	—
計	16,424	2,110	18,534	1,917	20,451	△81	20,370
セグメント利益	10,267	18	10,285	357	10,643	4	10,648

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リサイクル事業等であります。

2. セグメント利益の調整額4百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 業績

(連結業績)

(単位：億円)

	2021年3月期	2022年3月期		
	第1四半期	第1四半期	増減率(%)	通期予想
売上高	160	203	26.9	776
営業利益	67	106	58.1	384
経常利益	68	108	57.2	391
親会社株主に帰属する四半期(当期) 純利益	46	73	59.1	265

(2) セグメント別営業収益

(連結業績)

(単位：億円)

	2021年3月期	2022年3月期		
	第1四半期	第1四半期	増減率(%)	通期予想
《オートオークション》				
出品手数料	31	39	22.4	150
成約手数料	27	37	35.4	143
落札手数料	44	58	32.0	217
バイクオークション手数料	2	2	9.6	8
商品売上高	5	3	△32.3	16
その他の営業収入	21	22	3.5	90
オートオークション計	133	163	22.9	626
《中古自動車等買取販売》				
中古自動車買取販売	7	12	58.1	51
事故現状車買取販売	7	8	24.6	39
中古自動車等買取販売計	14	21	42.0	90
《その他》				
リサイクル事業	11	18	60.5	57
中古自動車の輸出手続 代行サービス	0	-	-	-
その他	0	0	7.7	0
その他計	12	19	51.3	58
合計	160	203	26.9	776

- (注) 1. 顧客との契約から生じる収益およびそれ以外の収益を区分して記載しておりません。
2. バイクオークション手数料は、株式会社ジャパンバイクオークションが運営するバイクオークションの手数料であります。
3. 2021年3月に中古自動車の輸出手続代行サービス事業から撤退しております。

(3) 設備投資額、減価償却費

(連結業績)

(単位：億円)

	2021年3月期	2022年3月期		
	第1四半期	第1四半期	増減率(%)	通期予想
設備投資額				
支出ベース	39	5	△85.8	44
完工ベース	47	1	△96.8	45
減価償却費	12	12	△4.2	49